

【経済学研究科(修士課程) アドミッション・ポリシー】

1. 経済学研究科の教育目標と求める学生像

経済学研究科は、広い視野に立って精深な学識を修め、専攻分野における理論と応用との研究能力を高めつつ、高度の専門的知識及び能力を養うことを目的としており、修了までに、以下の4つの能力を身につけた高度専門職業人(実務家および研究者)を目指す人材の入学を求めています。

- ・高度の専門的知識: 経済学, 経営学, 会計学の専門分野の知識
- ・応用力・実践力: 獲得した専門的知識を, 経済社会の諸課題に応用し, 実践する力
- ・研究遂行能力: 自らの問題意識のもとに研究課題を設定し, 必要な情報や知見を収集・整理し, 課題の解決に向けて分析を展開する能力
- ・論理的思考力・分析力・表現力: 蓄積されてきた知見や諸議論を論理的思考のもとに整理・分析することができ, また, 自らの主張・意見を, 論理的に説明する能力

2. 入試の際に求める知識・技能・関心

経済学, 経営学, 会計学の学問体系を基礎とした, 実践的応用力のある高度専門職業人を目指す人材として, 以下に掲げる知識・技能・関心を有している学生あるいは社会人を求めます。

- ・経済, 経営, 会計分野の理論的, 実践的諸課題に関する探究心
- ・大学院での研究の基礎となる当該分野や領域での学力
- ・大学院での研究に関する明確な問題意識と計画

上記の観点から, 一般入試(・専攻所属生対象特別入試)を実施し, 加えて, 多様な問題意識の志願者に対応するために次の3つの特別入試を実施しています。

- ・「社会人特別入試」は, 社会人としての経験を活かして明確な問題意識をもって研究に励もうとする, 意欲的な志願者を対象とする特別入試です。
- ・「商業科・公民科教員対象特別入試」は, 高等学校教育での経験や問題意識を基礎にして, 最新の学術知識を修得し教育の現場に還元していこうとする志願者やキャリアアップを図りたいと考える志願者を対象にした特別入試です。
- ・「修士再履修特別入試」は, 明確な目的意識のもとに, これまでの研究成果の上にさらに経済・経営分野の研究を積み上げていこうとする意欲的な志願者を対象にした特別入試です。